

4. 医療機器等整備計画

ア. 基本方針

- 1) 安全で安心な医療機器を提供できる環境整備を行う。
- 2) 地域中核医療機関として機能するために必要な医療機器を整備する。
- 3) 原則として、新病院に移設して使用可能な医療機器等は移設する。
- 4) ME機器の保守・管理等の管理業務を一元的に行う体制を整備し、情報システム等の活用により、物品の有効利用と安全性の向上を図る。

イ. 機能・規模

a. ゾーニング等

- 1) ME貸出庫、ME返却庫、ME保管庫、修理・保守スペースで構成するMEエリアを設ける。
- 2) 血液浄化業務（腹水濃縮濾過等）スペースを設ける。
- 3) 医療機器安全管理に関する書類等の保管、医療機器のアリバイ管理、情報管理を行える端末を配置し、作業できるスペースを設ける。
- 4) 関係する各部門（病棟、手術、救急部門）との連携を考慮した配置とする。

b. 主な取扱機器

新病院において使用する主な医療機器等として下記の機器を想定し、各機器の設置、使用、保守、保管などが無理なくできるようスペースの確保などに配慮する。ただし、開院時には可能な限り最新の医療機器等を導入するため、機器の種類は変更があるものとして、今後の技術動向等を考慮すること。

① 外来部門

- 1) 各科ユニット
- 2) 超音波診断装置

② 救急部門

- 1) 人工呼吸器
- 2) 除細動器
- 3) 超音波診断装置
- 4) 心電計
- 5) A C T測定装置
- 6) 大動脈バルーンパンピング
- 7) 心拍出量計
- 8) 各種モニター（ベッドサイドモニター・生体監視装置）
- 9) 無影灯

③ 手術部門

- 1) 手術用顕微鏡
- 2) レーザーメス
- 3) 手術台
- 4) 無影灯
- 5) 麻酔器（モニター含む）
- 6) 外科用イメージ装置

- 7) 内視鏡システム
- 8) 術中記録装置
- ④ 放射線部門
 - 1) 一般撮影装置
 - 2) 乳房撮影装置
 - 3) X線TV装置
 - 4) 血管撮影装置 (バイプレーン心臓用)
 - 5) 血管撮影装置 (アンギオCT)
 - 6) CT
 - 7) MRI
 - 8) ガンマカメラ
 - 9) 骨密度測定装置
 - 10) ポータブル撮影装置
 - 11) 体外衝撃波結石破碎装置
- ⑤ 検査部門
 - 1) 脳波計
 - 2) 心電計
 - 3) 聴力検査装置
 - 4) 生化学分析装置
- ⑥ 内視鏡部門
 - 1) 内視鏡画像ファイリングシステム
 - 2) 上部消化管ビデオスコープ
 - 3) 下部消化管ビデオスコープ
 - 4) 大腸用ビデオスコープ
 - 5) 電子内視鏡システム
 - 6) 内視鏡洗浄装置
- ⑦ 分娩部門
 - 1) 胎児監視システム
 - 2) 分娩監視システム
 - 3) 分娩台
 - 4) 新生児診療システム
 - 5) 保育器
 - 6) 超音波診断装置
- ⑧ 透析部門
 - 1) 血液浄化装置
- ⑨ リハビリテーション
 - 1) 作業療法機器
 - 2) 理学療法機器
- ⑩ 病棟部門
 - 1) ICUベッド
 - 2) 患者監視装置
 - 3) 輸液ポンプ
 - 4) 電動ベッド
 - 5) 人工呼吸器
- ⑪ 薬剤部門

- 1) 全自動錠剤分包機
- 2) クリーンベンチ
- 3) 安全キャビネット

⑫ 中央材料部門

- 1) 高圧蒸気滅菌装置
- 2) EOG滅菌装置
- 3) 蒸気発生器
- 4) プラズマ滅菌装置
- 5) 洗浄機
- 6) 乾燥機

ウ. 運営システム

a. 機能

- 1) ME機器の中央管理及び貸出を行う。
- 2) 機器の保守点検を行う。
- 3) 保守部品と外注修理の手配を行う。
- 4) ME機器のライフサイクル（購入から廃棄まで）に沿った中央管理を行い、無駄のない効率的な運用を行う。
- 5) 各部門で使用される人工呼吸器、輸液ポンプ等のME機器を中央管理し、高額な医療機器の有効利用を進める。